

暑い季節がやってきました。

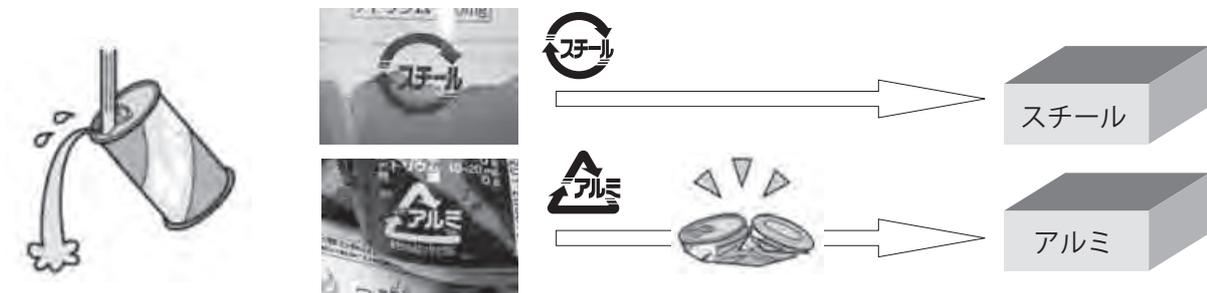
飲んだらリサイクルにご協力を!!

暑い日が続き、冷たい飲み物を飲む機会が増える季節になります。おいしく飲んだ後の缶やビン・ペットボトルは、再び容器として使うことが出来るよう、洗ってキッチンとリサイクルをお願いします。今月は、ビン、缶、ペットボトルを資源として出す際のポイントについてお知らせします。

ポイントは、①中身を空にしてから、すすぐ。②種類ごとにきちんと分ける。

空き缶

空き缶は、缶の下側にあるマークをよく見て、[アルミ] と [スチール] に分別して、指定された容器に出して下さい。その際に、アルミ缶など手でつぶれるものは必ずつぶして下さい。



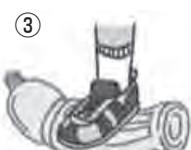
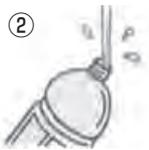
ペットボトル

ペットボトルは、キャップとラベルを外して、キャップとラベルは、【プラ製容器包装】へ。

本体は、【ペットボトル】へときちんと分けて出してください。その際本体は、つぶして下さい。



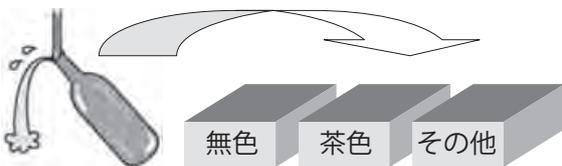
【資源】または【プラ】の日に、透明な袋に入れて【プラ容器】の容器に入れてください。



【資源】の日に、ペットボトル回収容器に入れてください。

空きびん

空きびんは、びんの色ごとに無色、茶色、その他の3つに分けて、指定されたコンテナに入れてください。



～分ければ資源、混ぜればごみ～



平成**22**年**10**月**1**日から、ごみ減量化を目的とした、ごみの有料化が始まります。

それぞれの収集日については、各地区のごみ収集カレンダーをご確認下さい。

【問い合わせ先 生活部 戸籍環境班 (②番窓口) TEL 84-1500】

住民基本台帳の 閲覧状況をお知らせします

町民のプライバシー保護と事務の適正な運用を図るため、住民基本台帳の閲覧状況について公表します。

(対象期間：平成21年4月1日～平成22年3月31日)

申出者	株式会社 日本リサーチセンター 代表取締役社長 鈴木 稲博
閲覧年月日	平成21年6月18日
利用の目的	日本銀行情報サービス局が実施する「生活意識に関するアンケート調査」(第39回)の対象者抽出のため
住民の範囲	大字中泉、大字長井、大字新館、大字沼越、大字羽林の満20歳以上の男女15名

申出者	社団法人 新情報センター 事務局長 平谷 伸次
閲覧年月日	平成21年9月9日
利用の目的	内閣府大臣官房政府広報室が実施する「体力・スポーツに関する世論調査」の対象者名簿作成のため
住民の範囲	大字塔寺字大門1324番地以降から20歳以上の男女15名

申出者	株式会社 コスモアトリエ 代表取締役 矢吹 誓一郎
閲覧年月日	平成21年10月8日
利用の目的	福島県文化スポーツ局が実施する「生涯学習に関する県民の意識調査」の対象者名簿作成のため
住民の範囲	20代～80代の男女 古坂下14名、青木15名

申出者	自衛隊福島地方協力本部 会津若松出張所長 篠原 鉄男
閲覧年月日	平成21年10月27日、28日
利用の目的	「自衛官の募集に伴う広報」の対象者抽出のため
住民の範囲	平成4年4月2日から平成5年4月1日生まれの男女および平成7年4月2日から平成8年4月1日生まれの男子

【問い合わせ先 生活部 戸籍環境班 (①番窓口) TEL 84-1500】

▼農産物品評会のため発刊された「河沼郡案内」



河沼郡案内は、その名前の通り、農産物全般にわたっての品評会のため、河沼郡内は勿論のこと、福島県内及び近県からの出品もあつたようです。農産物だけではなく、河沼郡寶坂村産出のオパール、軽井沢銀山の銀塊、加納鉦山の銅塊などの鉱物品、新しい学校教材や外国の珍しい植物など目新しい展示品も多くありました。臨時売店も数多く出され、業界団体、婦人、青年会などの大会もこの期間に合わせ坂下町で開催、華を添えることになりました。泊りがけでくる人も多かったのですが、旅館が足りなくて、民泊などで対応したということですよ。まるで博覧会のように、坂下町が一

番輝いた時でした。当時、福島県内には自動車営業者がいなかったため、この品評会の盛会と人手を予想した坂下町の運送業者・麻山新蔵らが発起人となり、東京自動車株式会社から二台を借り受け若松から坂下まで運行しました。乗合自動車の運行は福島県内では初めての事だったので、客馬車と自動車と銜合わせないように若松、坂下の両警察署では厳重に警戒をしていたのですが、開幕初日の二日、古坂下のところで何台かの客馬車と遭遇、自動車が通過するのを待っていた馬の頭が驚



▲会場となった河沼郡立農業学校（現在の会津農林高等学校）

明治四三年（一九一〇）四月二日から一日間にわたり、福島県農事講習同窓会第三回農産物品評会が、河沼郡立農業学校（現在の会津農林高等学校）と坂下小学校を主会場に開かれました。

この品評会は、その名前の通り、農産物全般にわたっての品評会のため、河沼郡内は勿論のこと、福島県内及び近県からの出品もあつたようです。農産物だけではなく、河沼郡寶坂村産出のオパール、軽井沢銀山の銀塊、加納鉦山の銅塊などの鉱物品、新しい学校教材や外国の珍しい植物など目新しい展示品も多くありました。臨時売店も数多く出され、業界団体、婦人、青年会などの大会もこの期間に合



▲会場となった坂下小学校

いて暴れたため、客馬車が転倒しました。幸いに四人の乗客には怪我はなかったのですが、この事故は、福島県内で起きた交通事故の第一号ともなつたようです。この品評会に合わせて出版された『河沼郡案内』をみると、郡役所、坂下警察署、坂下税務署などの主だった役所や坂下町の町並み、会場となった郡立農業学校、坂下小学校などが写真で紹介されているほか、当時の坂下町の様子が克明に伺い知ることができます。

▼問い合わせ先

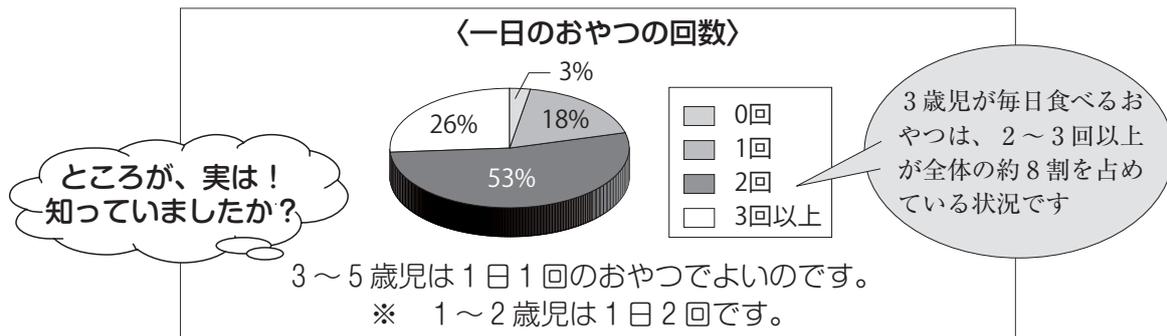
町史編さん室 TEL(83) 2234

ばんげの味が育てる その14 おいしい楽しい健やかライフ

子どものおやつについて

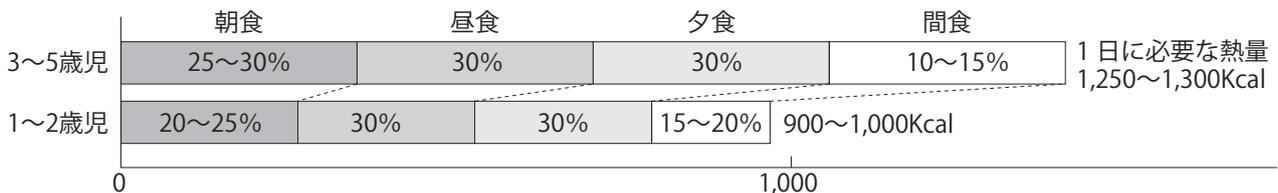
前回より、町食育推進計画の目標にもとづき健康管理センターからお知らせをしています。今回は『規則正しい食生活リズムの定着』の目標から、『子どものおやつ』について考えてみましょう。

これは昨年度の町の3歳児健診における「子どもの1日のおやつの回数」を示したものです。



それはどうしてでしょうか？

子どもに必要な1日の食事エネルギーとおやつを目安量があるからです。



三度の食事をおいしく食べてくれない、夕食におなかが空いていない、など困ったことはありませんか。実は1日に数回のおやつをとっていることがカロリーオーバーの原因であることが多いのです。

【大切なことは】

- ▼子どものおやつは、次の食事に影響しない程度の量を、時間をきめて、あげる
- ▼そのためには、食品のエネルギー表示を意識すること

子どもにとっての「おやつ」は、食事の不足分を補うための「小さな食事」「つなぎの食事」です。菓子類やジュース類だけに偏らないよう、乳製品・果物・いも類など三度の食事でもとりにくい食品も利用してみましょう。またできるだけ同じ時間にとることで、生活リズムを整えることにもつながります。また、塩味や甘いスナック菓子をあげる機会も多いかと思えます。袋や箱のままではつい手がでてしまいます。大人だってそうですよね。お皿などに適量を移し替えて食べる量を決めてあげましょう。そのときに、表示されているカロリーをよくみれば適量がわかるのです。

3～5歳児は1日1回、130～200kcal/日 1～2歳児は1日2回、140～200kcal/日 です。

手作りの健康的なおやつはもちろん理想ですが、子どものために毎日できることが大切。親だって忙しい毎日。。おやつは「なかみ」よりもむしろ「あげ方」が大事なポイントです。

▼問い合わせ先 健康管理センター TEL 83-1000



vol.1 図書室だより

中央公民館図書室 TEL 83-3010

会津坂下町中央公民館図書室には、現在一般書が約24,000冊・児童書が約8,200冊と、合わせて約32,200冊の蔵書があります。図書室は、町民の皆様の多様な生涯学習活動や豊かな文化的生活を支えるため、子どもたちが読書に親しみ健やかに成長する環境を提供するために、充実したサービスの提供に努めていきたいと思っております。どうぞ気軽に来室・ご利用下さい。

《図書室の利用のしかた》

- ・開室時間：午前8時30分から午後5時まで
- ・休業日：①毎月第2火曜日②春・秋の公民館清掃日③年末年始（12月29日から1月3日まで）
- ・利用冊数：①幼児から高校生までの子ども3冊以内②一般5冊以内③団体50冊以内（新着本は除く）
- ・利用期間：①個人利用2週間以内②団体利用1か月以内

初めて館外貸出を利用するときは利用者カードをお作り下さい（カウンターで申込書にご記入いただきます）。昨年10月から蔵書管理方法がバーコードを用いた新システムに移行したことに伴い、利用者カードも全てバーコード付きのものに変更させていただいております。旧カード（緑色のもの）をお持ちの方は、再登録・新カード発行の手続きをお願いいたします。返却の際はカウンターに設置の返却箱に入れて下さい（図書室閉室時には、事務室に返却箱がございます）。お探しの本が貸出中のときは予約が出来ます。予約カードに記入し、係員にお渡し下さい。本の用意が出来ましたら電話にてご連絡いたします（置き置き期間は1週間です）。予約がなければ貸出期間を一度延長可能です（あづま号の本・新着本は除く）。図書を紛失・著しく汚損した場合は、弁償をお願いしております。



★★

新着本のご紹介 北側入り口正面に「新着本の棚」を設置しました。おすすめの本をご紹介します。（全ての本をリストにした「新着本リストファイル」をご用意しておりますので、ご利用下さい。）今回は図鑑・辞書類もたくさん購入できましたので、夏休みの調べもの学習などにぜひお役立て下さい。また、「この本はどこ?」「これを調べるときはその本?」といったご質問がありましたら、係員へお気軽にご質問下さいね。

《一般》	《子ども・ヤングアダルト》
 <p>『竜馬がゆく ; 1 (文春文庫)』 913シバ1 (司馬遼太郎著/文藝春秋) 福山雅治主演の大河ドラマで関心が集まる坂本竜馬。小説で読むなら迷わずこの司馬遼太郎版をおすすめします。全8巻、一気に読める面白さです。 →この本もおすすめ 『龍馬伝；前編：NHK大河ドラマ・ストーリー』（福田靖著）</p>	 <p>『幽体離脱レストラン(怪談レストラン ; 41)』 K913カイ41 (松谷みよ子責任編集/童心社) 大人気！アニメも放送中のホラーオムニバス「怪談レストランシリーズ」。41～45巻が図書室に仲間入りしました。夏休みといえば怪談話。怪談レストランを読んで涼しくなるう！？ →この本もおすすめ 『ニック・シャドウの真夜中の図書館』</p>
 <p>『1Q84 a novel BOOK1 : 4月-6月』 913ムラ1 (村上春樹著/新潮社) 昨年度、100万冊以上売上げ、「出版界の救世主」とも呼ばれた話題の本。オーウェルが近未来を描いた『1984』とは鏡のように、「こうであったかもしれない」過去の「1Q84」が、「そうではなかったかもしれない」現在を映します。 →この本もおすすめ 『1Q84 a novel BOOK2 : 7月-9月』（村上春樹著）</p>	 <p>『獣の奏者 ; 3 : 探求編』 K913ウエ3 (上橋菜穂子著/講談社) 昨年NHKで「獣の奏者エリン」として放送されていた作品の続編です。母となったエリンは、歴史の闇に埋もれていた真実を知り、母とは違う道を歩み始めます…。子どもにも大人にも、それぞれの年代できっと「名作」と思える物語です。 →この本もおすすめ 「守り人シリーズ」全10巻（上橋菜穂子著）</p>

まちの話題



協働によるまちづくり推進事業決定

協働によるまちづくり推進事業とは、「住民が夢と希望と愛着を持てる」まちづくりのために、公益的な事業を実施する団体に対し10万円を上限に支援する事業です。本年度の対象事業が審査会により次の3事業に決定いたしました。

「“ばんげ” へようこそ事業」

国道49号線からの坂下の玄関口である駐車場付公園を植栽し、町のイメージアップに繋げる事業です。四季折々の花を咲かせ、町の顔、憩いの場所となるよう目指します。



実施団体：村田区 村田公園管理委員会

「食育勉強会」



子育てをされている方を対象に、食育の観点から「食を選択する能力」を身につけていただくため、講演会と料理教室を開催します。事業の際には臨時の

託児所も開設し、子育てに忙しい保護者がゆっくりと食育について考える時間を提供します。家庭でも子供と一緒に食育を考えるきっかけづくりを行うことにより食育の推進を目指します。

実施団体：NPO法人農産加工グループAKAZA

「いきいき元気幸せロード探索発見事業」

“思い出のばんげの道”として募集を行い選考し、マップを印刷配布してウォーキングイベントを実施します。マップや目標となる道標を設置することで、目標をもってウォーキングを行うことができ、子供から高齢者まで歩くことによる健康づくりと町の魅力の再発見を目指します。



実施団体：NPO法人スポーツクラブバンビィ

▼問い合わせ先 政策企画班 TEL 84-1504

「天屋の束松」子孫樹が里帰り

4月20日、天屋区・本名区にあります県指定天然記念物「天屋の束松」の子孫樹が里帰りし、束松峠内に植樹しました。

「天屋の束松」は束松峠で見られる特殊な形状のアカマツですが、ここ数年松くい虫等の影響を受け樹勢が衰えていました。そこで、束松と同じ遺伝子を持つ子孫樹の栽培を茨城県にある独立行政法人林木育種センターに依頼し、この度成長した子孫樹の苗木を里帰りさせました。

地元を代表する束松の二代目として立派に成長してくれることを期待しています。



「天屋の束松」子孫樹を新鶴PA内に植樹

4月26日、県指定天然記念物である「天屋の束松」の子孫樹をNEXCO東日本へ寄贈し新鶴PA内に植樹しました。

NEXCO東日本では、高速道路の緑化と周辺地域のPR事業を計画しており、今回は「天屋の束松」里帰り事業に併せて実施いたしました。





まちの話題

太陽光発電システム 設置費用の補助を行います

地球温暖化防止対策の一環として、住宅用太陽光発電システムを設置する町民の皆さんに対し、設置費用の一部を補助します。

▼補助の対象となる方

1. 会津坂下町内で自らが居住しているか、居住しようとしている住宅（店舗等との併用住宅含む）に太陽光発電システムを設置し、電力会社と電力受給契約を締結する方。
2. 補助金の交付決定日から2ヶ月以内に着工できる方。
3. 平成23年3月10日までに太陽光発電システムの設置が完了できる方。

▼対象となるシステム

住宅の屋根等への設置に適した、低圧配電線と逆流有りで連系した太陽光発電システムで、太陽電池の出力が10kw未満のシステム。
※逆流…システムで発電した電力を電力会社へ送ること。

▼補助金の内容

システムの出力1kwあたり3万円、上限4kwまでで1件あたりの限度額は12万円です。

▼補助の件数 3件（申込先着順）

▼申請受付開始

平成22年7月26日（月）

午前9時～

※必要書類を持参のうえ、申し込みください。

▼申し込み・問い合わせ先

政策企画班 TEL 84-1504

環境に配慮した庁舎づくり (1階の入口を自動ドアへ)



町は環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を平成15年に取得し、全庁的に取り組んでおります。

このたび、職員による「ユニバーサルデザイン検討委員会」の意見を受け、LED蛍光灯に続く庁舎環境づくり第2弾とし、1階生活部、税務管理班及び出納室前出入口を自動ドアへ改修しました。

身体の不自由な方だけではなく、赤ちゃんを抱いたお母さん、荷物をお持ちの方など、さまざまな状況でも使いやすい「みんなにやさしい庁舎づくり」を検討し、今後も町民の皆様のための庁舎を第一に考えてまいります。

▼問い合わせ先

行政経営班 TEL 84-1532

「市民討議会」の実施に向けて 三者協定が結ばれました



6月1日町長室において、竹内 显俊町長、会津坂下青年会議所の渡部篤理事長、NIVOの鈴木伸司理事長が三者で協定書に署名を行い「市民討議会」の成功へ向け握手を交わしました。

三者による協定締結に基づき、実行委員会を立ち上げ、今年10月9日・10日に「VOICE of あいづばんげ市民討議会2010」の実施を予定しています。

市民討議会とは、2005年に東京で初めて実施され、現在各地に広がりを見せている住民自治の手法です。その内容は、無作為に選ばれた一般住民が町の課題や問題等について意見交換する討議会を行い、そこで出された意見を報告書にまとめ、町に提言するというものです。普段、町の政策決定にまったく関わらない住民の「見えない意見」を「見える提言」にすることが、大きな狙いです。

みなさんのお手元にも参加依頼が届くかもしれません。ぜひ参加承諾していただき、より良い町づくりに関する日頃のお考えをお聞かせください。

※「市民（しみん）」とは、主権を持つ者の意味であり、〇〇市の住民という意味ではありません。

▼問い合わせ先

政策企画班 TEL 84-1504

まちの話題



会津坂下町成人式開催

成人式を迎える皆さん、おめでとうございます。中学を卒業して、あれからもう5年…なつかしい恩師や友達の笑顔に逢える成人式。

人生の節目として友達同士、お誘い合わせてぜひご出席ください。

一生に一度、の成人式・・・



- ▼日時 8月15日(日)
- ▼受付 午前9時より
- ▼開式 午前10時
- ▼会場 会津坂下町中央・坂下公民館(大研修室)
- ▼該当者 平成元年4月2日～平成2年4月1日までに生れた方で会津坂下町に住所がある方または会津坂下町出身の方。

※該当者には、ハガキでお知らせいたします。参加希望で通知がない場合は、下記に申し込みください。

- ▼申し込み・問い合わせ先
生涯学習班(中央公民館内)
TEL 83-3010

警察署協議会委員に 長谷川孝一さんを選任



平成22年4月6日に、会津坂下警察署で第1回警察署協議会が開催され、長谷川孝一さん(橋本)が、今年度の会津坂下警察署協議会委員に選任されました。

警察署協議委員は、地域住民の代表として警察署長の諮問に応じると共に、意見を述べることで、警察署の業務運営に地域住民の意向を反映することを任務としています。任期は1年間です。

自分らしく生きよう！ 「親子の楽しい運動教室」開催



普段は仕事でなかなか子どもとふれあえないお父さん、お母さん！いつもと違う親子のふれあいができる運動教室に参加してみませんか？

- ▼開催日時 8月7日(土)
午前9時30分

- ▼開催場所 町民体育館

▼開催内容

- ・親子で楽しめるコーディネーショントレーニング体験
- ・子育て座学会Ⅰ
『子どもの運動』
- ・子育て座学会Ⅱ
『子育てトーク～ワーク・ライフ・バランスって？～』

- ▼募集対象 3歳から小学校2年生の子どもと保護者

- ▼会費 一組500円

- ▼定員 先着50組

- ▼申込期限 7月20日(火)

- ▼申し込み・問い合わせ先
生涯学習班(中央公民館)
TEL 83-3010

NPO法人スポーツクラブ
バンビィ TEL 83-2301

※参加費を添えて申し込みください。